

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年8月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300141
法人名	医療法人 健育会
事業所名	つどいの家
所在地	鹿児島県始良市鍋倉224番地1 (電話) 0995-66-3533
自己評価作成日	平成25年7月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年8月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・毎月の努力目標を定め、毎日唱和し入居者が安心した生活を送れるような取り組みをしている。
- ・玄関先に四季折々の花を植え、季節の移り変わりを感じて頂いている。畑には野菜を作り、成長、収穫の喜びを味わっていただいている。
- ・可能な限り「軒下から一步外に」を目指して外気浴、外出の支援を行い精神面の安定を図っている。
- ・母体が医療法人のため。健康面においても連携が取れ、ご家族にも安心して頂いている。
- ・入居者様が得意とする「私の出番」を見つけ、有する力を発揮しながら暮らして行く為の支援を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人が設立し、協力医療機関の定期的往診や緊急時の対応などの医療のバックアップ態勢が整っている。
- ・自治会に加入し、地域行事への参加など日常的に交流している。近隣の馴染みの友人や知人・家族が遊びに来てもらうよう働きかけ、従来の関係や社会とのつながりが途切れないよう支援している。さらに「いきいきサロン」にも利用者と一緒に参加している。認知症サポーターの養成に協力するなど、福祉の情報発信の場となっている。
- ・利用者個人をよく把握し、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割を支援している。
- ・家族へのアンケート実施や毎月の個別に利用者の近況報告を郵送し、家族との繋がりを大切にしている。
- ・管理者は話しやすい環境を整えて、職員の意見や提案を聞き反映させている。職員はケア対応等のさらなる向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホール内に理念を掲示し、朝、夕の申し送り時に唱和し全職員が共有し、実践されているか確認し合っている。理念に基づき毎月の努力目標を定め実践している。	地域との関連性を重視した独自の理念を作成し、事業所内に掲示している。朝礼時等に唱和し職員会議等で話し合い具体的なケアに繋がるように、理念の共有と実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に地域の方の出席をお願いし情報等を共有している。防災訓練等を、近隣住民と合同で行っている。中学生の職場体験学習等を受け入れ、地域との関係を保っている。	自治会に加入し、地域の行事に積極的に参加している。地域のサロンにも利用者と参加し交流を深めている。また中学生の職場体験学習や施設の子供たちとの交流、ボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議での認知症の勉強会の実施。認知症サポータの育成にも協力している。救命救急の講習に近隣の方々に呼びかけ一緒に行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	出席者への外部評価の報告。地域からの情報を得たり、委員との関わりの中で、地域に溶け込み地域活動への参加も増えている。運営推進会議の会議録はミーティング等で報告している。	会議は定期的に行われ、事業所の運営や外部評価結果の報告を行い、現在取り組んでいる内容について報告し、意見をもらっている。地域活動への取り組みについての活発な意見交換などがあり、運営に反映されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議参加していただき、取り組み等を伝え助言を得て、事業所との架け橋の存在となっている。 キャラバンメイトの研修の受け入れも行政担当者と協力実行している。	市担当者とは、日頃から申請書や書類更新の機会等に情報を交換して指導やアドバイスももらっている。福祉担当者とも細かに連携を取っている。市主催の養成講座などにも積極的に参加する等、協力関係ができています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・身体的弊害、精神的弊害、社会的弊害をもたらすことを、全職員が理解し、拘束をしないケアに取り組んでいる。日中鍵を掛けないケアとして、スタッフ同志の見守り、声掛けの強化で、可能な限り、出入りが自由に出来るようにしている。透明拘束○に向けた取り組みも心掛けている。	入居時に、身体拘束をしないケアについて家族に説明している。マニュアルを基本に勉強会を実施し、職員の共有認識を図っている。昼間の玄関は施錠せず職員間の連携で見守りや声かけを行い、事故のないように気を配り安全な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・研修会への参加、職場内での勉強会にて、虐待は生命、身体に重大な危険を生じる場合があることを学び、防止に努めている。朝夕身体状態の確認を行い、早期発見に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市町村の講習会に参加したり、ホーム内勉強会を定期的実施して制度の理解活動に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には事業所の運営理念や説明を行っている。 特に退所に関する取り決めについては不安、疑問点がないように説明している。また、改定や変更の際は、文書にて本人、家族に説明し承諾、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>行事等、家族の皆さんが集まる機会を設けて、家族の方との会話をしている。推進委員会への参加を呼び掛け 要望や意見を尋ねて検討して迅速に対応しケアに活かせるように努めている。面会、カンファレンス時、家族の要望等を聞き入れている。</p>	<p>利用者とは日頃から何でも気軽に話せる雰囲気作りに留意している。家族とは面会時や行事参加後の「家族と語る会」で思いを聞いている。家族へのアンケートも実施している。出された事項は職員で話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング等での職員の意見が反映されるように心がけている。 月一回の法人の全体会議で提案や意見の場を設けている。</p>	<p>管理者は、ミーティングや朝夕の申し送りの時に、職員の意見や提案を聞く機会を設けコミュニケーションを図っている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。法人全体の会議も毎月開催し、意見や提案を出せる場を持ち、意見は運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は個々の能力や実績、勤務状態等を把握している。また、職員との懇談の機会を設けたり、年に数回の法人内の懇親会の実施等によりコミュニケーションを重視している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的に行われる法人内の研修に参加している。新人研修やホーム内勉強会の実施。研修報告をミーティング時に行い全職員が認識する。また、自己評価、外部評価も積極的に取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区協議会に加入し研修等で交流の場を持っている。問題点や課題について地域の施設の方と電話連絡や訪問して情報の交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	出来る限り、本人宅、事業所に出向き、面談回数を多くし、顔なじみの関係を築いている。また、切迫した状態での入所も多く、本人の思い、訴えを真に受け止め、信頼を得られるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の想いを傾聴し、ホームの役割等を説明し、双方にとって今何が必要か、安心した生活ができるか、家族に協力と支援をお願いし共に考えるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談、連絡等は本人や家族の思いを傾聴し、必要時は居宅事業所や他のサービス機関への照会、相談等により、その時点で必要とされるプランを作成し、寄り添ったケアを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活歴、家族の言葉から、本人の得意とする物を知り、野菜作り、料理、漬物等教えてもらいながら行動し、出来る事の役割の継続と支援を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時に状態を報告、また、遠方のご家族には、本人の訴え、要望を電話連絡し、現状を把握していただいたり、外出、外泊の実施、行事等に参加していただく事で、本人との関係を築いていけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅時での馴染みの人の来訪を家族にお願いしたり、遠方の家族、親戚の方には、便り、電話等で連絡を取っている。また、買い物、美容院、同級会等、馴染みの関係の継続が可能になるように努めている。	入居時に家族から馴染みの人や場所を聞き、連絡を取っている。地元出身の利用者が多く、友人知人の訪問の際には居室を開放してお茶を出している。行きつけの理・美容院や買い物に行ったり、自宅訪問をして地域住民との交流を支援している。家族の協力で墓参もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の性格や生活歴を把握し、利用者同士が良い関係を築くように症状等に合わせ、座席の位置を考慮している。問題発生時は、職員が調整役となり、気まずくならないように配慮する。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	時候の挨拶や電話をかけたりにして関係を築いている。他の事業所に移られても面会に出向いたり、家族からの相談等に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	朝夕の申し送り時は、利用者一人ひとりの状態を報告し合い、入浴、レク、日常会話の中で本人の思いを見出し、職員間で把握検討している。想いを言葉で表せない方には動作や表情で察するように努めている。	入居時に本人や家族・関係者からの情報を得ながら、日々の関わりの中で言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。意思疎通が困難な利用者には、職員間で話し合い記録帳類も活用しながら、本人中心の支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人、家族から聴き得た生活歴や日常会話の中から情報を拾い、その人らしい暮らしが出来るように全職員が共有している。また、希望者には、ご先祖様にお茶、ご飯を供えて頂いたり、大切にされている習慣を大事にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で、言動、行動をキャッチし、職員間で共有すると共に、個々の能力、生活パターンを把握し、洗濯たたみ、縫物、野菜作り等、個々が得意とする事や役割を見出しケアに結びつけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の状態に合わせて、その都度本人や家族の要望や意見を取り入れながら、主治医・看護師の意見を参考にミーティング等で課題を検討し、介護計画を見直している	本人や家族その他必要な関係者の意見や要望を聞き介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを、6ヶ月毎にカンファレンスを実施している。状況が変化したときは現状に即して作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人別に記録し、身体状況から日常生活での様子等記録し、申し送り等で全員が共有し計画に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の生活の継続性と家族の要望を踏まえて、通院介助・外泊・買い物等の要望支援。往診、医療連携等入居者にとっての生活の継続性の支援。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>消防署の立ち会での災害訓練、地域の行事(音楽会・サロン・七夕祭り)に出向き、地域の方との触れ合う機会を設けている。美容院や移動パン屋の利用。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援する。協力病院も定め適切な医療が受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診が継続できるように支援している。さらに協力医療機関から往診もあり、連携を取りながら適切な医療が行われている。通院は家族の協力を貰ったり、職員も対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関との契約による看護師の訪問があり、入居者の状態全般について相談している。医療連携ノートを活用し、全職員が周知確認できるような体制を取っている。緊急時にはその都度連絡、相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には必要な情報を提供して、医療機関とも連絡を密にとり早期の退院や本人の混乱をなるべく少なくするように努めている。家族とも連絡を密にとり、職員も出来るだけ御見舞等に訪問し励まし、ダメージの軽減に努める。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、重度化や終末期に向けた対応については、事業所の方針を説明、家族との意向も確認し、同意を得る。また、その時々状態に応じて、ご家族と主治医を交えて再度意志確認を行っている。	本人や家族とよく話し合うとともに、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書をもっている。また状況変化に従って繰り返し話し合い、意思を確認している。職員全員がその方針を共有している。既に看取りの経験がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署に依頼し救命救急の研修やホーム内勉強会を実施している。急変時のマニュアルを作成し周知徹底を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防立会いの下、地域の方の協力を得ながら、昼夜を想定した避難訓練を定期的実施している。災害(地震・台風・地滑り)の対応も行政の情報提供の協力等も得ている。	年2回消防署の指導のもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。さらに自主訓練も行い職員の意識向上に努めている。スプリンクラーも設置され事業所職員や地域住民との協力体制もできている。地震・水害・その他の災害に対しても行政と連携を取っている。災害時の備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄介助の声かけは、声の大きさや難聴の方には、文字を表す等の工夫をする。やむ得ず、PWトイレを居室に置く場合は、布等でカバーし、見た目の配慮、居室に入室する際は、ノック、声掛けを行う。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意し、排泄や入浴・更衣時には、声かけを含めてさりげなく対応する等、入室時のドアノックなど、プライバシーの確保に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけ等で自分で選択できるように声掛けの工夫を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活において、可能な限り無理強いしないで、一人ひとりのペースに合わせた支援や病院受診や外出等希望に沿った支援を心掛けている。(食事時間、入浴時間、起床、就寝時間)		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に理容をホームに来て頂いている。行事等時は、化粧などして楽しんで頂いている。衣類は本人と一緒に選び、必要に応じて声かけ支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、入居者の希望や季節の食材を取り入れて作成している。能力に応じて、季節の物の下ごしらえ、盛り付け等を一緒に手伝ってもらう。嗜好によっては、代品で対応し、誕生会では本人にメニューを決めて頂いている。	旬の食材を使い利用者の嗜好に配慮した献立を工夫している。利用者も可能な範囲で準備や後片づけを職員と一緒にやっている。誕生会や行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。食事形態の工夫と食事介助は本人のペースに合わせて行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分摂取量を記録し好みの飲み物(ジュース・コーヒー)を提供することで不足を防止する。一日の食事量を記録して、一人ひとりにあった食事形態と栄養状態に応じた食事を提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア時の見守り、一部介助、入居者の状態に合わせたケアを行っている。義歯は、夜間、洗浄し清潔を保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターン(チェック表)や時間帯での誘導、声かけを行っている。夜間帯と日中はオムツ等を外したりして工夫している。失敗に対しては自尊心や羞恥心を考慮してさり気なく支援している。	個々の排泄パターンを把握し、排泄チェック表を基に、利用者の自尊心や羞恥心を配慮しさりげなくトイレ誘導を行っている。おむつを減らす取り組みと排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表をつけて把握している。水分・野菜をしっかり摂取することの大切さを説明、理解して頂いている。予防のために乳製品や繊維質の食材がとれる献立の工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	菖蒲湯・ゆず湯などで入浴を楽しんでもらう。入浴時は、ゆっくりと語り合える場ともなり、喜ばれている。また、入浴前後の水分補給を行い、健康管理に努めている	入浴日は週3回であるが、各人の希望に添った入浴ができるように支援している。くつろいで入浴ができるように、菖蒲湯やゆず湯などを工夫して、入浴を楽しむなものにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床まではTVを見たり、本を読んだりしてくつろいで頂く。気持ちよく眠れるように、室内の温度、明るさ、寝具の肌さわり等に配慮する。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬の整理、仕分けを行ったり、処方の変更があった場合は申し送り時に全職員が把握できるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	野菜作り、裁縫など生活歴を活かして役割や外出の支援や移動図書、移動パンを利用し、生きがいのある生活が送れるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	軒下から一歩外へ出る事を目指している。散歩、ドライブ等出来るだけ入居者の要望に応えるようにしている。ホームの菜園にて野菜作りをして収穫の喜びを味わっている。お墓参りや自宅訪問等はご家族の協力の下個々に対応している	日常的には、天気の良い日は毎日のように散歩や一人ひとりの楽しみごとに合わせて買い物、ドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。家族の協力で自宅訪問や墓参も行っている。さらに年間計画を立てて花見等に出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に出かけた際には、本人の買いたい物を選んで頂き、精算して頂く。精神面を配慮し、家族の了解を得て、お金を所持していただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方の家族等にお祝時に電話や手紙を書いて関係の継続に努めている。本人の要望時はその都度対応する。贈り物が届いたときは必ず連絡をして会話して頂く。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が自分の力で過ごせるように必要な場所には手摺等を取り付けている。食卓に草花を飾り季節感を感じて頂く。壁画も入居者と職員が一緒になって季節の飾り付けや手工芸に取り組んでいる。温度、湿度と共に臭気に対しても配慮している。活動時席も個々のトラブル防止に向けた、配置としている。</p>	<p>玄関先には季節の花が植えてあり、共用の空間は天井が高く換気に配慮し、障子の彩光のやわらかな陽ざしが差し込み、開放感がある。畳の部屋もある。周囲の壁には利用者と職員の作品が飾られ季節感がある。掃除も行き届き、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファで一緒にテレビを観覧したり、談話が楽しめるように配慮している。個々の空間も工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、ご家族に入居時に、使い慣れた品物を出来るだけ持参して頂けるように声かけを行う。入居後も必要に応じてお願いしている。(テーブル・仏壇等)。家族からのプレゼントやレク等で制作した作品、絵等を飾ることで本人らしい居室としている。	居室は洋間でベッドや整理ダンス・テーブル・椅子が備え付けである。好みにより畳を敷くこともある。手作りの作品を飾ったり、テレビ・仏壇のある部屋もあり、馴染みの物が持ち込まれ、安心して暮らせる配慮がなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活経路は整理整頓して、要所に手すりを設置し自立と安全面から配慮し、環境整備に努めている。 トイレ・居室は目印で本人が場所の確認が出来るように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない